

# 宝木だより

**第27号**  
 発行 宝木地区まちづくり協議会  
 (宝木地域コミュニティセンター内)  
 TEL・FAX 028-624-0531



建て替え前の社です



## 宝木ぶらり

### 大杉神社

大杉神社は、西  
 中丸公民館の南  
 方約300×1  
 トルの地に所在  
 し、真っ赤な鳥居  
 を構えているが、  
 社は民家風であ  
 る。  
 同神社は、関東、

東北に670社ほどで、市内にも数社あり、総本社は茨城県稲敷市阿波にある大杉神社であると伝えられている。

古老の話によると病氣平癒、厄除け、悪病、悪魔退散を願う社で祭りとして昭和初期頃までは盛んな祭りをして、近頃から親しまれていた。この祭事を行うことにより、人類に対して諸神をひきいて災いを消し、悪をけし払って大きな恩恵を与えてくれると伝えられていた。

大正時代までは、正月、5月、9月を除いて毎月旧暦の17日に行われていた。旧暦8月17日は大祭日と言われ、村人が参詣し終日にぎわいを見せていた。

大祭では、まず、集落の人々が神社に集まり、祭主となる神職が大杉神様の降神を祈り、集落に疫病や災害が来ないように祈願を行った。



その後若い衆が行司と言われる役目をいただき、行列の先達を務めた。

先達者は天狗の服装を整えて高下駄頭に天狗とカラ入天狗の面をつけ、続いて神輿、その後は奉納大杉神社と記したのぼり旗数本を掲げ併進する。行列は集落を一戸一戸訪問し、天狗は、家の中に入り家内安全、悪魔払いを行い外では神輿がお囃子に合わせて千度踏みを行います。

戦後しばらくは、青年団が神輿の担ぎ手となっていたが、時代の流れと共にいなくなり、氏子も37戸になっている。現在は、1月の最初の丑の第2日曜日に、祭主を務める神主を護国神社から来ていただき、ご祈祷後伝統を継ぎ、天狗、神輿、のぼり旗の順に氏子宅を回っている。神輿は昨年新調したが担ぎ手がなく軽トラックに載せて各戸を訪ね、祭主によるお払いの祈祷が今なお続けられています。(天谷保一氏の資料参考)



11月11日秋晴れのこの日、自治会をはじめ地域団体から屋台、交通安全教室、健康づくりブースなどが設けられ、多くの人でにぎわいました。そして陽西中よさこい音頭が一層まつりを盛り上げてくれました。

# 宝木まつり

## 平成30年度の地域団体の活動・事業



昨年4月に発足し、本年12月完成を目標に、毎月策定委員会を開催、活発な意見交換・討議をしております。

### 宝木まちづくり ビジョン策定委員会

### 環境部会

ゴミ出しマナーの掲示板掲示

**「きれいなまちづくり」に協力してください。**

このゴミ収集所は私たちが利用しています。周辺にお住まいの方に迷惑をかけないようルールとマナーを守りましょう

- 1 ゴミ収集日・収集時間を守りましょう  
収集日以外の日や収集後にゴミを出すとゴミが残り悪臭や動物による被害が発生します。収集所周辺の方に迷惑を掛けないようにしましょう。
- 2 収集ゴミの分別区分に従って正しく分別しましょう  
粗大ゴミや事業所のゴミは出せません。分別掲示板を確認しましょう。
- 3 防鼠ネットを利用しましょう  
清掃当番は必ず清掃しましょう。

宝木地区まちづくり協議会 自治会第 班

### 防犯部会

防犯パトロール帽子作成配布



### 防災会

防災会役員、消防関係者による防災会議



### こぶしの会

一人暮らしの方へ「ふれあい会食」として手料理をふるまう。



### 交通安全協推進議会

市から自転車乗車安全教育用にヘルメット10個が贈られた。



忘れてないか  
サイズ  
火の確認!

宝木地区婦人防火クラブ

婦人防火クラブ  
手製の防火ポスター作製、自治会等で掲示

# 地域住民一体の地域包括ケアシステム

## 宝木地区支え合い会議

高齢者の方が、その地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するための体制整備を昨年から進めてきましたが、本年4月「宝木地区支え合い会議」として設立しました。この会議は、自治会など活動主体の情報交換、課題の発掘、ケアのコーディネート、そして高齢者の社会参加活動や健康づくり活動など住民一体となって活動し、事業を進めます。高齢の方個々には、自治会の「ふれあい福祉の会」が担当します。設立までの経緯は次の通りです。

### 31.4.29 支え合い会議設立

- ・支え合い会議会則の制定
- ・会議の構成員を指名
- ・ふれあい福祉の会の4半期毎の開催
- ・支え合い会議事業・活動計画



### 30.7.10 地区社協臨時総会

- ・地区社協会則改正
- 自治会に「ふれあい福祉の会」設置
- 構成は、自治会正副会長、民生委員、福祉協力員です。(ケアの中核とする)



### 元 .5.26 支え合い会議研修

行政、地域、市民が連携して高齢者の自立した生活支援の仕組みケアシステムについて学ぶ 参加者 130名



### 30.10.23 福祉研修会

宝木独自の制度「ふれあい福祉の会」として・誰を・誰が・何をすべきか、について研修しました。



# われらが自治会の誇り・自慢 3

## 班長会議を毎月開催

### 宝木町一の三自治会

班長会議を、毎月第1土曜日に開いています。これにより班長さん方が顔見知り、顔なじみとなり、会議の間に互いにおしゃべりが弾み、交流のきっかけとなっています。

このようなことが、今叫ばれている「人のつながり・絆」を醸成し、自治会の地域の基盤になっていくものと期待しているのです。



## 宝木細谷自治会

### 細谷のメイン通りは夜間明るく安心

### 毎月自治会だよりを発行

細谷町内のメイン通りを夜間歩いて見て下さい。防犯灯が完備しており明るいです。(写真は保育所前通り)

特に、町外の方から夜間安心して歩けることを強く感じたとの声が寄せられました。

また、毎月発行している自治会広報誌「細谷だより」は、すでに100号を超え発行されており、親しまれています。



新任校長のご挨拶



陽西中学校長 半田 哲司

今年度四月より一条中学校から赴任いたしました、半田哲司と申します。

創立七〇周年記念式典を終え、七十一周年目となり、新しい元号「令和」元年にあたる今年度に陽西中へ赴任したことを、緊張感とともにやりがいをもって毎日の学校運営にあたっております。朝の校内巡回で、生徒の元気な挨拶に答えるのも楽しみの一つです。また、先日行われまして宇河地区大会では、たくさんの方々が大会に出場することができました。今後も子どもたちの望ましい成長のために、地域の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いたします。



宝木小学校長 富川 努

暖かな春の訪れとともに、それぞれ1学年ずつ進級した子供達と新1年生とを迎え、創立45年の伝統を受け継ぐ宝木小学校の学校長として着任いたしました。本校の、素直でいきいきと活動する日々の元気な姿をたいへん喜ばしく思うとともに、本校の教育理念「やさしさ勇気喜びそして夢」をもとに「すすすく育つ宝木の子」を育てていくこと、使命を新たにしております。本校は多くの保護者や地域の皆様に支えられた「地域と共にある学校」です。全教職員で力を合わせ、一人一人のお子様を健やかに成長できますよう、努力してまいります。



西が岡小学校長 丸山 美江子

本校は、今年度創立三十五周年を迎えました。新しい学校であるにもかかわらず、校庭には様々な木々が季節ごと順番に様々な表情を見せて、子供たちを応援してくれています。現在は、「ヤマボウシ」が可憐な花を咲かせています。これは、開校より、本校のためにご尽力いただいている地域の皆様の思いが形となっていることに他なりません。地域の皆様の温かな思いに見守られながら、そして多方面にわたる応援をいただきながら、子供たちは元気に活動しています。本当に幸せなことであると感謝の気持ちでいっぱいです。

地区育成会の活動

「育成会は無くなるのか」こんな言葉を聞くことがあります。少子高齢化は高齢者の問題だけでなく、地域の子育ての取り組みにも課題を投げかけています。事実、育成会が消滅してしまった自治会は地区内で3箇所もあるので。このような情勢の中で地区育成会は、各種事業を計画し活動しています。育成会を応援しよう。



草木染 (わくわく広場)



球技大会



子どもまつり

種 目	1 位	2 位	3 位
ソフトボール	2 の 2	2 の 3	西中丸
ソフトテニス	2 の 1	西中丸	2 の 2
卓 球	西中丸	2 の 2	細 谷
女性簡易バレーボール	2 の 2	1 の 1	2 の 3
野 球	東中丸	2 の 2	1 の 3 2 の 1
バレーボール(女子)	2 の 2	2 の 3	西中丸
バレーボール(男子)	2 の 2	2 の 1	1 の 2
ゴルフ	2 の 2	2 の 1	西中丸

球技大会成績表 体協

あとがき

昨年度は、地域ビジョン策定委員会を設置し、本年末の完成に向けて進めており、地域福祉では、地域包括ケアシステムを構築し「宝木地区支え合い会議」を設立しました。本年度は、令和時代の幕開けです。どんな時代になるのかという不安とともにこんな時代であって欲しいという望みを抱くことも当然でしょう。皆様にとっても良い時代であることをお祈りしたいと思います。(お)